



北鎌倉台峯トラスト 北鎌倉の景観を後世に伝える基金

会報

北鎌倉だより

2005年2月 NO.12



台峯保全を祝う

皆様のご協力で無事に保全が決定いたしました。

どうもありがとうございました。

目 次

■ 「台峯の保全決定！」	2
■ 台峯の保全によせて	2
■ 歓びの声	3
■ 石渡鎌倉市長との会談	5
■ トラストの集い 保全への思いを語り合う	6
■ 活動報告	8
■ 会計報告	9
■ 伝 言 板	10

台峯の保全決定！

2004年12月16日



2004年12月16日鎌倉市より台峯緑地を保全する方針が発表されました。当基金が「里山的実質保全」を訴えてきました台峯緑地の保全の第一歩が踏み出されることになりました。

以下は鎌倉市のホームページより抜粋

(<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/>)

①準備委員会は、山崎字台峯の約28.7haの樹林地における開発事業(土地区画整理事業)を取り止め、鎌倉市の緑地保全施策に全面的に協力する。

②鎌倉市は、当該事業予定地について、緑の

基本計画に基づく鎌倉中央公園の拡大区域の方針に沿って、平成17年度における想定価格で約60億円以内を目途に、概ね10年間で公有地化を図るための手続きをとる。

このように鎌倉市は台峯保全の方針を打ち出しましたが、きちんとした形をとるためにには買い取りの予算が承認されること(2月議会)、台峯保全が事業として承認される(6月以降の議会)必要があります。従って私たちは今後ともこの手続きが確かに行われることをしっかりと見守っていく必要があります。



台峯の保全によせて

台峯保全の決定、有難うございます。石渡市長様のご英断、代表なだいなだ先生をはじめ、理事、監事、会員の皆さんに心から御礼申し上げます。地元の子供さん達、学園の生徒達も、里山の恩恵を沢山に受けて心豊かに育つことでしょう。1976年、台峯緑地開発計画の発表以来30年、北鎌倉女子学園を会場として事業者から第1回目の計画の説明が開かれてから15年。この間様々な反対運動があったものの、やがて低迷期を迎えます。そして7年前 なだいなだ先生を代表としてNPO法人「北鎌倉の景観を後世に伝える基金」が設立されました。関係者の確固たる信念と豊かな発想で繰り広げられる活動「台峯を歩く会、音楽会、映画会」等。目的がはっきりとし、明るく活発な活動が、皆様の共感

宮澤文恵 前北鎌倉女子学園校長

を呼び、今日を迎えたのでしょう。

只、山の所有者の方々には長い間ご苦労をおかけして申し訳なく存じます。有難うございました。また、吉報直前に亡くなられた小林京子様とは、手を取りあって喜びたかった。それだけが心残りです。



北鎌倉女子学園の台峯での総合学習風景

歓びの声

北鎌倉駅から歩いてほんの十数分のところに残る、美しく豊かな里山の自然が保全されることが決まり、本当に嬉しく思っています。気持ちを一つに、知恵を寄せ合って活動してこられた皆様に心から感謝いたします。

阿曾千代子 鎌倉市

皆様、おめでとうございます。多くの関係者の皆様の御努力の成果だと思います。皆様の静かな熱意と真剣さの賜だと思います。何のお役にもたてませんでしたが、陰ながら応援しております。私の近くの自治体でも、「みどり債」の応募が行われるようです。「環境」と「人間」の問題は大きな命題の一つだと思います。(大変勉強になりました。) 今後の皆様の更なるご活躍をお祈り申し上げます。

渥美和也 三鷹市

山の神様にご挨拶をして初めて入った台峯。雨の滴りが地を潤し、幼いせせらぎが岩をえぐる谷戸、そこに生かされる諸々のいのちたちの不思議。かつての普通の谷戸地の尊さに早くから気付かれてどれほど沢山の方々が保全活動のために身を捧げて下さったのだろう…どれほど多くの人々が志半ばに傷つき倒れられたのだろう。多様な命をはぐくむ聖域としての台峯の保全決定は心ある方々からの授かりもの。感謝をこめて乾杯！

石原瑞穂 鎌倉市

一ヶ月遅れでお便りを読んでもらいまし

た。緑地保全が決まり嬉しくて涙が出ました。中心となって我々を引っ張られた皆様に心からお礼を申し上げます。視覚障害者の身で参加させてもらいご迷惑をおかけしたと思います。私は他の方々が口には出さないけれど、いつも優しい目で見ていてくださったことを感謝しています。今後とも鎌倉の緑を見守りたいと考えています。近くまた参加したいと思います。その節はよろしくお願ひいたします。

大堀悠佳 横浜市

自然破壊あの住宅地 わが今泉は自然大破壊のもとに造成された。冬季の陽当りに不満はあるが、だからこそ手に入れることができたとも言い得て、全体的には満足している。そういう所に住んでいて緑地保全運動に共鳴して台峯を歩く会に参加するようになった。「自分たちは幸いに緑豊かな鎌倉に住むことができている。もうこれ以上開発してくれるな」というのは気がひけたが、その愚を諭してくれたのは久保廣晃さんだった。

小野徳次郎 鎌倉市

美しい自然はそのまま放置しておけば荒野になる。里山の美しさは多くの人たちによる手入れの結果なのである。台峯も保護が決まったがこれからも真価を問われる。誰がこの美しさを守り管理するのか。その仕組み作りをしてこそ我々は次世代に引き継ぐことが出来よう。さあもう一息だ。

香山 隆 茅ヶ崎市

今般の活動を通じ、里山が日々の生活にいかに関わってきたか、またその現状がどうなっているかを、肌で学ぶよい機会を得ることが出来ました。今後、台峯周辺が、生きた里山として保存されることを願っております。

熊本寛見 横浜市

鎌倉朝日によるとなどいなどと～歩く会になっていますが、自然保護との関係がはっきりしません。これでは有名人を利用した無関係の大衆を集めて利用していると思われても仕方がないと思います。これからは行政との戦いになるので、あいまいな安易な戦術は通用しないのではないかと心配しております。

倉知 康 町田市

保全決定。久保さんにくつついで歩くだけで何も協力しなかった私なんぞに資格があるか疑問ですが、素直に喜んでおります。しかし多くの方々のご指摘のように問題はこれからです。生態系の保全はやり直しの利かない緊急でかつ慎重を要する事業です。公園ならば宅地開発より悪い結果はまさかでないでしょうが（一匹の迷子蟻の心配をするほど心優しい）学識経験者を活用して百年・千年を経ても悔いのない公園ができればいいなと思います。

権 平健一郎 さいたま市

みんなの粘り強いトラスト運動の努力の結果、念願がかなって台峯緑地が全面保全になりました。おめでとうございます。振り返って見て思い出すのは、久保さんの案内でみんなと歩いた山路、四季折々に咲いていた美しい花々、春の樹木の芽吹き、秋の紅葉など…学習になりました。特に印象に残ったのは

ハイケボタル。蒸し暑い風のない夏の夜、幻想的で妖しい光の点滅に魅せられました。久保さんありがとうございました。カワニナが生息できる環境を。

斎藤英夫 鎌倉市

台峯緑地の全面保全決定おめでとうございます。基金の方々が長い間地道にかつ着実に活動されてきた大きな成果であり非常にうれしいニュースでした。しかしある保全が決まっただけであり、これから実際に保全していくかねばなりません。台峯については基金の方々がよくご存知ですので保全活動についても主体的に行政や市民達を啓蒙していただきたいと思っています。自分たちも積極的に参加していきたいと考えています。

田中幸博 横浜市

「北鎌倉を愛する全ての人々」、「後世に伝える」という会の趣旨から千葉在住ではあります家族で参加することにしました。久保さんや池さん、会員の方々から教えていただく台峯の魅力はどれも新鮮な感動を与えてくれました。生き物たちの生態を知ることから命の大切さを学ぶ。昨今の少年犯罪などもこうした機会を奪ってしまった大人たちに責任があるのでないでしょうか。台峯が私たち家族の原風景として残されたことに心より感謝します。

長島 豊 千葉市

デカデカと出た新聞記事の一面を見て、ついにやったと思わず喜びの声を上げてしまいました。何度も記事を読み返し、これで次世代にもこの景観を残すことが出来たと感無量でした。思えば会長が、この運動はユックリと根気よく続けて行く覚悟が…と述べて

おられましたが、やっとトンネルを抜け出すことができ、関係者の方々のご努力に感謝の念で一杯です。景観を自然のまま残すための保全にご協力したいと考えています。

橋本直七 横浜市

台峯保全決定おめでとうございます。その恩恵にあずかる者として、関係者の皆様の長年のご努力を心から尊敬し感謝いたします。勤務先の東京で、「鎌倉から通勤なんて大変ですね！」と毎度のように言われますが、横須賀線に揺られ、鎌倉駅に降り立った瞬間のあの空気。他の何物にも替えられません。台峯や広町で作られた空気が海からの風にまじり、八百年のお寺や街並を通り抜けて、

なんともやさしく身体を巡り、心を蘇生してくれます。

山内 隆 鎌倉市

なだ先生はじめ皆さまのご努力が実り、本当におめでとうございます。皆さまの自然を守る固い決意と実行力、なだ先生の静かでつよいエネルギーは驚くばかりです。愚かな開発をついに阻止することが出来まして喜びに耐えません。私も今後山歩きに参加したいのですが、全行程は無理で半行程くらいならと願っております。息子夫婦もおかげさまで元気になっております。共々にお祝いを申し上げます。皆さま、うれしい佳いお年をお迎えくださいませ。

山本睦子 鎌倉市

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 石渡鎌倉市長との会談 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇



1月24日(月)台峯緑地を保全するとの行政の決定を受けて、当基金ではなだいなだ代表

をはじめ8名で石渡市長を訪問した。一同保全のための市長および担当の方々のご尽力を感謝し私たちが提案してきた「台峯緑地の里山的実質保全に向けて市長の考えを伺った。市長からは「保全が緊急に必要なとの認識が一般に浸透し、また広町の保全が成ったことなどから自分の予想よりも早く、保全の合意が得られた。」さらに「これからは、保全活動に関わってきた団体、

学校、一般市民と広く意見を聞き、どのような形で保全するかを考えることになる。」又今回の



取得資金は一部国や県の協力を得ることが出来るため「みどり債」の発行は考えていない。との意向が示された。加えて当基金を通じて2002年に台峯の保全を願って小津安二郎を慕うパリ市議会議員と映画監督の山田洋次氏から市長宛に保全要望の手紙が届けられたが、この願いに応えた今回の決定を、それぞれの方々に市長自ら報告してくださることになった。

トラストの集い

11月28日、晴天下、北鎌倉円覚寺帰源院で第6回の「集い」が60名の参加をもって開催されました。なだいなだ代表の挨拶、毎回台峯の案内役を引き受けている久保廣晃さんと“みどりショップ”を代表して県会議員の仙田みどりさんからの激励を受けました。続いて当基金理事の望月真樹さんから事業報告と事業計画が、また新槇幸子理事から会計報告がなされました。がいずれも全員の了承をいただきました。次にメインテーマの、台峯を取巻く現状に



について参加者の注目のなか、鎌倉市の鎌倉広町・台峯緑地担当課長の梅原秀晃さんから事業者の

円覚寺内 帰源院にて

変化、市の対応姿勢などについて説明がなされました。

保全に向かった嬉しい雰囲気の中で、フリートークの場で中心となった議論は、台峯を中心公園の延長また防災公園的位置付けではなく現に生息する生き物達、植物を傷付けない里山的保全をぜひ守ってほしいとの要望でした。なだ代表もこの点を憂慮され、また、参加者一同もその為にこそ今日まで「トラスト基金」を支えてきたことを強調されました。

この日参加した法政大学社会学部の学生さんからも鎌倉にこんな場所、無垢な自然が残されている事の驚き、自分たちもこの運動を見守っていきたいと表明されました。

「第6回トラストの集い」は初めての若い参加者の発言を得て成功裏に閉会しました。

(企画 小田原茂夫)



トラストの集いに出席して

平尾光司 鎌倉市

11月28日に円覚寺帰源院で開催された集いには会場の大広間に入りきれないほどの参加者であふれた。帰源院の庭には晩秋の陽射しの中に石路(ツワブキ)の華が輝くような黄色に咲いていた。その明るい会場は台峯の保全に佳い進展があることを期待させた。しかし、冒頭のなだ代表のご挨拶は沈痛なものがあった。台峯保全に今年も確とした進展が



みられなかったこと、献身的に運動を支えていただいた小林さんのご逝去とご自身も

小林さんの御通夜で転ばれて足を痛められしたことなど重苦しい口調で語られた。総会の前に野村不動産が開発を断念しつつあるという情報を耳にして喜んでいたので嬉しいであつたかと懸念した。

しかし、鎌倉市役所の担当課長からの慎重な発言ながらも市としての前向きな取り組み姿勢と野村との粘り強い交渉経過の報告を聞いて次第に明るい前途が見えてきた気持ちを持てた。市の担当者に対して出席者から鎌倉中央公園の自然破壊の過ちを繰り返させない要望の発言が相次いで台峯保全が確実に進展

しつつあることを感じることが出来た 集いの帰途に小林さんのお宅の前で黙祷して総会の報告と生前のご貢献に感謝を捧げさせていただいた。



北鎌倉で学んだこと

瀬田宙大 法政大学社会学部

初めて北鎌倉の縁に触れた感想は2つあります。「まだこんなところがあったのか」という発見とともに、「守られている幸せな場所だな」と感じました。自分の子供を見つめるような皆様の暖かい眼差しを感じ、不思議と穏やかな気持ちになりました。社会が不安定になる中で、多くの人の“目”は光を失っています。北鎌倉での経験は、多くの人達の目に再び光を差し込むことができるは、“何か”を大切にする人の大きな背中と、それを見つめる暖かい“目”であり、生きた“言葉”的数々だと再確認する時間でした。

鎌倉中央公園についてですが、実はとてもいい公園だと感じました。それに対して、台峯緑地は素晴らしい縁だと感じました。

これらは同一のものさしでは測れない世界で、人工物には人工物なりの美しさと機能性があり、同様のことが自然物にもいえます。しかし、人工物はいくらでも作ることができ



ますが、自然物は果たしてどうでしょうか。

近年、よく「持続可能な社会の構築」という言葉を耳にします。これはすべてに共通する概念だと思っています。犯罪、財政、国際問題、人権問題、そして地球環境問題。この持続危機を開拓するために、まず必要なのは、暖かい“目”であり、生きた“言葉”にあると思っています。是非これからも私の感じた暖かさを放ち続けて欲しいと強く思います。

最後になりますが、この度の台峯緑地保全決定、おめでとうございます。大変感動しました。これから新たな段階に入るとと思いますが、ますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

活動報告 (2004年9月～2005年1月)

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇



1. 定例理事会

9月度 10月度 11月度 12月度
1月度

毎月第一日曜日(午前10時～12時)

北鎌倉山ノ内公会堂で開催

2. なだいなどと台峯を歩く

9/19, 10/17, 11/21, 12/19, 1/16

毎月第3日曜日午前9時に山ノ内公会堂に集合し中央公園まで2時間かけて、台峯の自然を味わう。これは代表のなだいなどと鎌倉自主探鳥会の久保さん、池さんなどの協力で当会の主な行事の一つとなっている。

3. 小泉邸跡地見学

10月17日 旧所有者である小泉氏のご厚意で大正ロマンの雰囲気を漂わせる本館と和室、日本庭園および蔵を含む邸内が一日だけ公開された。台峯歩きの予定に合わせ時間を30分早め特別に開放していただき、氏自ら説明して下さった。

4. 赤道整備作業

9/18 10/16 11/20 12/18

毎月第三日曜の前日に山崎小学校の裏に集合、2時間をめどに台峯緑地の中の山道を整備する作業。2月より午前10時～12時

5. 北鎌倉駅頭における街頭募金活動

10/17, 11/21

6. その他

○トラストの集い

11月28日 (P6, 7記事)

○行政による台峯保全の方針発表

12月16日 (P2記事)

○台峯保全決定の報を会員に発送

12月24日

○なだ代表他7名で市長と会談

1月24日 (P5記事)

小泉邸跡地マンション建設計画

台峯のそして北鎌倉の景観の保全の活動を展開してきた当基金は、小泉邸跡地のマンション建設は北鎌倉の景観破壊につながるとして建設そのものに反対する姿勢を明らかにしてきました。山田建設による計画は中止となつたものの、その後を引き継いだ(株)大京は昨年12月には高さ16.15m戸数61戸5階建てのマンション建設計画をほぼ実行出来る手続き的な環境整備を完了しています。昨年は「景観法」が制定・施行され、《景観》が社会的にも意識される時代となっていましたが、基本はやはり近隣住民がまとまって、景観に関する粘り強い運動を展開していくことが必要であることを痛感いたしました。今後、当基金としては事業者(大京)の動向を注視しつづけるとともに、北鎌倉の景観破壊につながるマンション等の建設計画が新たに発生した場合はその都度、同様の対応を続けるつもりでおります。

(望月真樹 - 事務局担当)

会計報告

(平成16年4月1日より17年1月末迄)

特定非営利活動法人
北鎌倉の景観を後世に伝える基金

科目		16年度予算	4月～1月迄	予算残高	摘要
収入	入会金	10,000	0	10,000	本年度入会無し
	個人会費	760,000	620,000	140,000	本人421名家族146名合計567名
	団体会費	18,000	17,000	1,000	7件
	セミナー収入	700,000	586,000	114,000	イベント、チケット売上げ
	民間助成金	100,000	10,907	89,093	店舗募金箱
	寄付金	500,000	610,093	-110,093	33件
	街頭募金	50,000	26,390	23,610	円覧寺前にて3回
	機関誌収入	250,000	129,700	120,300	2号、3号、4号、5号合計264冊
	受取利息	8,000	11,928	-3,928	鎌倉市債利息￥3,800他
	雑収入	20,000	16,080	3,920	総葉書及び本売り上げ収益
合計		2,416,000	2,028,098	387,902	
支出	(緑地の保全・管理事業)				
	整備作業費	25,000		25,000	
	消耗品費	55,000	60,499	-5,499	道具小屋、鍵
	賃借料	11,000	12,000	-1,000	道具小屋、借地料1年分
	諸謝金	20,000		20,000	
	(普及・研修・事業費)				
	通信費	150,000	108,930	41,070	会員宛会報その他送付
	旅費交通費	53,000	55,000	-2,000	チャリティ出演者交通費
	会議費		45,833	-45,833	チャリティ食事代
	印刷製本費	30,000	41,899	-11,899	会報1回及び山歩きビラ10回その他
出	諸謝金	60,000	59,710	290	関係者謝礼
	事務消耗品費	50,000	61,513	-11,513	チャリティ、山歩きビラ用紙、他
	委託費	230,000	168,000	62,000	チャリティ企画費
	賃借料	36,000	57,000	-21,000	第6回集い時、会場費を含む
	損害保険料	8,800	7,800	1,000	山歩き保険料
	雑費	35,000	2,835	32,165	
	(広報・出版事業費)				
	通信費	55,000	102,612	-47,612	会員宛機関誌発送料、他
	印刷製本費	500,000	1,955	498,045	機関誌6号17年3月までに発行予定
	編集費	50,000	20,000	30,000	機関誌5号
支	事務消耗品費		6,540	-6,540	インク代
	諸謝金		23,150	-23,150	ホームページ作成謝礼
	(交流・協力事業費)				
	通信費	5,000	1,790	3,210	日本トラスト協会
	旅費交通費	5,000		5,000	日本トラスト協会
	負担金	50,000	50,000	0	NPO賛助会費他
	研修費	5,000		5,000	
	民間助成金	3,000	18,480	-15,480	日本トラスト協会郵送料
	(管理費)				
	旅費交通費	15,000		15,000	
保有資産・負債	通信費	75,000	75,640	-640	振込料、会員納入依頼、会員証送付
	事務消耗品費	30,000	50,910	-20,910	コピー代、用紙代、封筒他
	賃借料	36,000	30,000	6,000	山ノ内公会堂17/1月迄
	会議費	10,000	12,800	-2,800	総会時昼食代16名
	交際費		35,000	-35,000	お見舞い及び供花料
	雑費	28,000	29,351	-1,351	登記料他
	合計	1,630,800	1,139,247	491,553	

前期より繰越		17/1月末残高	摘要	
保有資産	現金		61,225	
	当座預金	1,000,089	549,475	郵貯
	普通預金	529,765	761,085	郵貯￥283,711 東三￥477,374
	定期預金	11,191,161	11,805,481	郵貯￥9,622,073 東三￥2,183,408
	鎌倉市債	1,000,000	1,000,000	大和証券鎌倉支店
負債	合計	13,721,015	14,177,266	
	未払金	432,600	-432,600	機関誌5号発行費（支払済み）
	差引正味財産		13,288,415	
	合計		13,288,415	

総積立金：

12,805,481

伝 言 版

台峯を歩きませんか

毎月、第3日曜日午前9時に北鎌倉・東慶寺手前の山ノ内公会堂に集合。歩く前に今月の見所聴きどころの説明があります。その際の配布資料が人気。その後台峯から鎌倉中央公園まで歩きます。説明を含め約3時間。案内は鎌倉自主探鳥会の久保さん、池さん他。(参加費なし、解散は正午頃。雨の日はフリートーク。)

山道手入れのお誘い

2001年初夏から、台峯の中の山道（赤道）の手入れを行っています。2時間ほどの作業、雨でぬかるんでいる所に笹を切り取って敷く作業、道を覆い尽くす雑草の除去、大雨で壊れた小川の土手の修理、階段の取り付けなど。作業用の服装でお出かけください。用具類は会の方で用意いたします。雨天中止。会員、非会員は問いません。

※作業日：毎月、第3日曜日の歩く会

前日の土曜日午前10時～12時まで

※集合場所：山崎小学校裏の道路上

※集合時間：午前10時

※各自用意するもの：飲物、手拭い、軍手、帽子

機関誌販売協力のお店

茶房 紫穂	鎌倉市山ノ内 395	0467-24-9732
輸入雑貨 bito	鎌倉市山ノ内 371	0467-22-6433
ギャラリー ネスト	鎌倉市台 1399-1	0467-47-9540
パタゴニア鎌倉	鎌倉市小町 1-13-12	0467-23-8970

●小泉邸の実測調査

2004年10月3日、4日に慶應大学湘南キャンパスの三宅研究室の澤田和華子氏（博士課程）を中心に小泉邸の実測調査が実施されました。2年前北鎌倉の建築物を調査した際、小泉邸は印象的な建物として記憶されていたそうです。今回当基金からの提案もあって、鎌倉市の景観課の承認を得て実測調査が実現しました。現段階では小泉邸が昭和初期の大林組の規格住宅である可能性があるなど、文献調査を含めてもう少し調査が必要なようです。

●12月16日台峯の保全が鎌倉市より発表になった。そのあと最初の台峯歩きではお天氣にも恵まれ参加者の皆さんのお声も弾んで、素晴らしい会となりました。

●今回の会報は「保全に寄せて」という形で会員の皆様のお声を掲載させていただきましたので、いつもの「会員の声」の欄は設けておりません。ご了承ください。

会報 12号

発行日 2005年2月26日

発行者 NPO法人

北鎌倉の景観を後世に伝える基金
事務局〒247-0062 鎌倉市山ノ内 704-9
TEL 0467-47-9892

moc@kamakuranet.ne.jp

<http://www.kitakamakura-trust.org/>

写真資料提供 池英夫、市川和夫